

歌とともに

酒井沃子^{よつこ}◎声楽家・合唱団主宰

私は、横浜市青葉区でシニア世代を中心に四つのコーラスグループを主宰しています。私自身声楽科の出身ということもあり、音楽、特に歌うというに関わって、この地でかれこれ三八年経ちます。そして、シニア世代に係わるようになってからも三〇年以上になります。当初は楽しく歌いたいのと思うように声が出ない、なかなかありませんか？という相談事から始まりました。内心もうお年だからどうかしら？と思っていましたがちよっとアドバイスすると皆さん楽に声が出はじめ、訓練すれば幾つになっても声は出るようになるのだと逆に教えられました。そこからどっぷり指導の世界にはまり込んで現在まで続いています。プロの集まりではないのですから「音楽」を文字通り楽しんでいただければ良いものを、ついつい力が入ってしまい愛？のムチを振りまくり「馬頭観音」ならず《罵倒観音》

りませんでした。まして音楽が天職になるなど考えてもいないことでした。今こうして大勢のみさんと歌う喜び、歌える幸せを共有できること、感謝です！平成になった年に昔から歌いつがれて日本人の心のふるさとなっている歌の数々が、言葉が難しいから、現代の情景に合わないからといった理由で歌われなくなっていくことに危機感を覚え、明治、大正、昭和の歌を若い世代に歌い継いでゆきたいという思いから「明日へのこす心の歌」というコンサートを企画しました。年に四回、七〇回まで続けました。心に残る曲の数々はそのメロディーや歌詞を聴くと、当時の情景や、気持ちや、匂いまでも思い出されるものです。私は歌曲の中でも日本歌曲を中心に演奏してきました。日本語のもつ細やかな情感を、歌うことを通していかに伝えるか、これがもっとも重要なことです。ことばの意味を理解すること、一語一語の発音を大切にすることは基本ですが、その情感を表現することは努力の世界だけではないようです。生まれ育った環境のなかで培われてくるものが底辺にあるように思われます。私の中にはいつも自然にあふれた故郷が生きています。そしてそれらが常に私の音楽の道しるべともなっている

と呼ばれたりもしましたが、経験も重ねて今ではあんなにムチを振るわれても皆さんが付いてくるのはよほどの魅力があるのでしょう、と「弥勒」ならず《魅力菩薩》と有難い名前を頂戴し、呼ばれるようになりました。二〇〇四年、青葉区役所の共催を頂き「65歳からのアートライブ」を立ち上げ高齢者の方々と共にアートな暮らしを演出し更なる活力にあふれた人生創造をお手伝いし応援する活動をはじめました。音響の良い素晴らしいステージに全国から声楽、楽器と応募され演奏された方々は延べ八〇〇人以上になります。ご褒美に著名な音楽家の先生方から講評が頂けるのがこの会の特徴です。毎年このコンサートに出演するのが生きがいですと常連さんも増え、重い病気もこの日のためにと克服された方々もいらつしやいます。

私は信州、長野で育ちました。両親が音楽好きで子供の頃から当たり前のように、家の中には音楽が溢れていました。ピアノの周りに集まって家族そろって合唱をしたことなど懐かしい思い出です。高校に入り母の勧めもあり声楽の勉強をはじめましたが、ただ歌好きのおちゃめな甘えん坊の末っ子でしたので、将来音楽の道に進もうなどとは思っても寄

ようです。

今年は東日本大震災によって生涯忘れることのない年になりました。故郷を失った方々がたくさんいらつしやいます、たとえようの無い悲しみと空しさに押しつぶされていらつしやることでしょうか。どうぞ心の中に生きている故郷の歌を忘れないでください、そしてきつといつの日にか、暖かい思い出と共に口元からこぼれてくる日がくるでしょう。そうしたらご一緒に大声で歌いましょう、必ずそんな日が来ます!!

私も音楽の力、言葉の力を信じてこれからも歌の道を歩いていきたいと思えます。

